



# 青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323  
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2019年2月28日



多くの参加者を集め賑わう組合員新年会



合同清掃10年賞表彰式

当組合の理事である青森三菱自動車販売(株)・青森スズキ自動車販売(株)代表取締役社長 佐々木聡氏が、自動車関係功労者国土交通大臣表彰を受



青森三菱自動車販売(株)代表取締役社長 佐々木 聡 氏

## 佐々木理事が国土交通大臣表彰を受賞

賞した。国土交通省で執り行われた表彰式では、石井国土交通大臣から佐々木氏に表彰状と記念品が贈られた。同表彰は、自動車関係事業に長年精励し功績顕著である者を国土交通大臣が表彰するもの。佐々木氏は自動車販売業を営み、青森県軽自動車協会会長や日本自動車販売協会連合会青森県支部副支部長を務めるなど、長年にわたる功績が認められた。

## 三つの価値創出事業でビジネスパークに飛躍 2019年 組合員新年会

新年を祝う恒例の組合員新年会が1月11日(金)午後6時よりホテル青森で開催され、組合員及び来賓を合わせ121名が参加した。開催にあたり西理事長は、「今年、消費税率の引上げに伴う消費マインドの冷え込みに伴う消費税率の引上げに、これまでに以上に組合員の皆様をサポートしていきたい」とあいさつした。続いて来賓を代表して、津島衆議院議員、佐々木青森県副知事、小野寺青森市長から祝辞が述べられた。次に、合同清掃に長年わたり協力した企業に贈られる問屋町合同清掃10年賞の表彰が行われ、西理事長より今年度受賞となった4社へ楯と記念品が贈られた。その後、新たに組合に加入した(株)リンクステーション、ENEOSグループエナジー(株)、(株)セブン・フィナンシャルサービスの紹介が行われ、青森商工会議所若井会頭の乾杯の音頭で祝宴に入った。祝宴では参加者が新年のあいさつを交わし合い、会場は賑わ

み等、中小企業者にとっては一段と厳しさを増すことが予想されるが、組合では人材確保対策として県内卸団地企業と共同で県内の大学での共同求人活動の実施を計画しており、これまでに以上に組合員の皆様をサポートしていきたい」とあいさつした。続いて来賓を代表して、津島衆議院議員、佐々木青森県副知事、小野寺青森市長から祝辞が述べられた。次に、合同清掃に長年わたり協力した企業に贈られる問屋町合同清掃10年賞の表彰が行われ、西理事長より今年度受賞となった4社へ楯と記念品が贈られた。その後、新たに組合に加入した(株)リンクステーション、ENEOSグループエナジー(株)、(株)セブン・フィナンシャルサービスの紹介が行われ、青森商工会議所若井会頭の乾杯の音頭で祝宴に入った。祝宴では参加者が新年のあいさつを交わし合い、会場は賑わ

## 団地内街路灯が全面LED化

昨年の10月から11月にかけて、青森市による団地内街路灯のLED化工事が行われ、団地内全域の街路灯がLEDランプに切り替えられた。これまで団地内の街路灯は従来の電球式で、球切れや設備の経年劣化により不点灯が頻発し、組合員から早期解消の要望が数多く寄せられていた。組合では、街路灯を管理する青森市に対し、再三再四、改善を要望、2016年11月には、街路灯早期LED化の要望書も提出した。これに対し市では、2018年度に、エネルギーサービスを包括的に提供するESCO事業を活用して市内道路・公園照明のLED化に着手することとなり、このたびの団地内街路灯の全面LED化実現の運びとなった。組合では、今後も関係機関と協力しながら、組合員が働きやすい、安心・安全なまちづくりを目指していく。



街路灯LED化で明るくなった問屋町

### 就業規則等の改定についてなど承認

#### 第10回理事会

第10回理事会が1月21日(月)に問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは、2018年度求人アンケート調査結果について報告を行った。

主な案件審議は次のとおり。  
案件一：就業規則等の改定について

案件二：組合員跡地買取資金の借換について

案件三：2018年度第11回理事会の日程等について

### 組合員ヒグチがラビナにセレクトショップOPEN

オフィス用品等の販売を手がける組合員(株)ヒグチが、青森駅ビル・ラビナにセレクトショップ2店舗を出店した。

1月15日には4階に、こだわりのステーションナリーやライフスタイル雑貨を取り扱う「WORK&STUDY K I S U K E (きすけ)」が開店。2月1日には、青森や全国津々浦々から集めた和をメインにした雑貨・文具を取り揃えた「K I S U K E」が1階にオープンした。

同店では、消耗品としてではなく愛用品として使ってもらえるよう取扱商品を厳選。店内には、青森ではここで



4階は仕事や勉強で使用するグッズ中心



1階にはこだわりの和の小物が並ぶ

参道には協議会メンバーや地元の子供たちがバケツに雪を詰めて作った雪灯籠が約1



同友会有志が制作した雪像

### もったいない・あおもり賞受賞

組合では、青森県が主催する「もったいない・あおもり県民運動」で平成30年度もつたない・あおもり賞を受賞した。

同運動は県が主導し、温室効果ガスの排出量削減やごみ排出量の抑制、リサイクル率の向上を目指し、県民、事業者、関係団体等の協力を得て様々な取組を推進するもの。当組合は、紙類や木製パレット等回収によるリサイクル率向上やフラーボックス設置による環境美化への取り組みなどが評価され、このたびの受賞となった。



もったいない・あおもり賞受賞

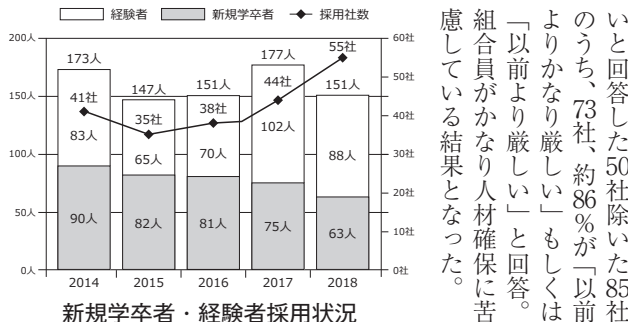
1月11日(金)には「平成30年度もったいない・あおもり県民運動推進大会」がアピオあおもりで開かれ、同大会内で表彰式が行われ、佐々木副知事より組合の小田切業務部長に表彰状が手渡された。

### 2018年度求人アンケート調査結果まとめ

組合では、組合員企業の当団地内での採用状況を調査する求人アンケート調査を毎年実施しており、このたび、2018年度の調査結果がまとまった。

2018年度の新規学卒者及び中途採用(経験者)の調査では、採用人数は151名と昨年対比で26名減となったが、採用した組合員数は昨年の44社から55名へと増加、過去5年でも最多となった。

また、人材確保・求人状況については、回答した135社から求人募集を行っていない



いと回答した50社除いた85社のうち、73社、約86%が「以前よりかなり厳しい」と回答。「以前より厳しい」と回答。組合員がかなり人材確保に苦慮している結果となった。

### 大星神社で雪灯りまつり開催

2月3日(日)、問屋町に隣接する大星神社にて、「おおほし雪灯りまつり」が開催された。同イベントは、参拝者が少なくなる冬期間に神社を活性化、子供たちに雪と戯れてもらおうと「妙見まちづくり協議会」が毎年開催し、今年で3回目となる。

50基並べられた。夕方には明かりがともされ、辺りが暗くなるとオレンジ色に浮かび上がり、幻想的な光景が広がった。また、今年も青森問屋町経営同友会が同イベントに協力し、トトロの雪像を制作。来場者は笑顔で記念写真を撮影していた。

事務機のコンサルタント

## 青森精機株式会社

本社 ☎030-0131 青森市問屋町二丁目12番23号  
TEL (017) 738-2106(代表) FAX (017) 738-0856

十和田営業所 ☎034-0092 十和田市西一番町10番27号  
TEL (0176) 22-3253(代表) FAX (0176) 24-1192(代表)

冷凍食品・食肉・食鳥・調味料  
海産品・冷凍工ビ・鶏卵・惣菜

## (株)丸大冷蔵

本社 青森市問屋町2丁目16の8  
TEL (017) 738-4171(代表)  
FAX (017) 738-8399

営業所 八戸・弘前・むつ  
盛岡・一関・秋田・大館

新規組合員紹介

▽(株)セブン・フィナンシャルサービス

本社 東京都千代田区

代表者 水落 辰也

業務内容 コンビニエンス

ストア

所在地 問屋町一丁目

TEL 9122

TEL 72817717

▽(株)リンクステーション

本社 青森県青森市

代表者 大嶋 憲通

業務内容 情報処理サービス

ス業

所在地 問屋町一丁目

TEL 514

TEL 71817355

▽ENEOSグローブエナジ

1(株)

本社 東京都千代田区

代表者 宇田川 博文

業務内容 石油製品販売卸

所在地 問屋町二丁目

TEL 1111

TEL 72812240

事務局人事異動

▽退職 業務部 佐々木 秀家

(1月18日付)

業務報告

主要事項

21日▽第10回理事会

24日▽商団連事務局長会世話

人会

▽青森市職域健康づくり

部会

30日▽市高度化事業団体連

絡協議会先進地視察調査

(2月1日)

▽問屋町

ビジネススクール

16日▽スキルアップセミナー

クローキング編

17日▽Y's CLUB

22日▽決算書の読み方・活か

し方・貸借対照表編

24日▽決算書の読み方・活か

し方・貸借対照表編

入から消費者への販売までを一貫

して行えるのが当社の強みです。

また災害時・緊急時対策として、

LPガスの中核充填所を運営して

います。非常用LPガス発電機も

導入しており、大規模な災害発生

時にはLPガスを安定的に供給で

きるよう体制を整

えています。私共

にはエネルギー会

社として万が一の

災害発生時にライ

フラインを滞りな

く届ける責務があり

ます。今後も

お客様へ安心と信頼をお届けでき

るよう努めます」と語る。

業界の現状について話が及ぶと

「人口とエネルギー需要は直結し



ENEOSグローブエナジー株式会社 北日本支社長 執行役員 木村 幸雄 氏

の安全装置を設置

した上で供給して

いるということをし

もつと知ってほし

いです」と話す。

今後の目標など

について聞くと「昨年4月までの

5年間は仙台にいましたが、それ

までは青森育ちの青森勤務でした

ので、地域の発展にどう貢献して

いけるかを常に考えています。お

客様は地元の販売店や消費者とな

るため、これからは社員一丸とな

って地域に密着したサービスを

徹底いたします」と力強い。

問屋町の印象や趣味について

尋ねると「組合員の多さに驚き

ました。今後は団地内のイベン

トや会合などで組合員の皆さん

と交流を深めていきたいです。

趣味はツーリングです。オート

バイを40年ぶりに始め、バイク

販売店の企画に参加して仲間た

ちと一緒に楽しんでます。青

森の景色は自然が多く四季がハ

ツキリしているところが魅力で

すね。春が待ち遠しいです」と

笑う。

同氏の座右の銘は「継続は力

なり」。口で言うのは簡単です

業務内容

液化石油ガス、石油類及び付帯器具の販売 冷暖房、給排水工事  
液化石油ガス配管工事 厨房設備設計工事 住宅リフォーム etc

ENEOSグローブエナジー株式会社

北日本支社 青森支店

〒030-0131 青森県青森市問屋町二丁目1番地11号

TEL 017-738-2211 FAX 017-738-5281

クンゼ 青森県代理店

クンゼ製品・婦人洋品・沓下・タオル卸

多田商店

本社 青森市問屋町 TEL017-738-4237代



株式会社 小山商会 青森出張所

青森市問屋町一丁目14-5  
TEL(017)728-5680 FAX(017)728-5681  
本社 仙台市青葉区花京院二丁目2番75号(小山ビル)  
TEL 022(265)9701(代) FAX 022(265)7615  
支店 仙台・東京・名古屋・大阪  
営業所 札幌・青森・盛岡・郡山・北関東・筑波  
千葉・静岡・京都・岡山・福岡  
工場 本社・札幌・関東・静岡・中部・関西

営業種目  
総合器具リース  
病院用寝具  
ホテル用寝具  
フードサービス

短期間のイベントや警備には  
レンタル無線機が最適です

お問合せ  
下さい

(株)電技パーツ

電子部品  
無線各種  
PC関連  
防犯カメラ  
放送設備

青森市第二問屋町3-6-44  
TEL: 017-739-5656  
Email: shop@dengiparts.co.jp

### 問屋町会館で普通救命講習会を実施

2月5日(火)に問屋町会館で心肺蘇生法やAEDの使用法等を学ぶ普通救命講習会を開催し、組合員従業員20名が受講した。

安心・安全なまちづくりを目指す組合では、青森地域広域事務組合の協力を得て、同講習会を初開催。急病人や負傷者に対して、救急車が到着する前に何をすべきか、いかに対処しなければならぬのか、DVDとテキストを用いた講義を受けた。その後、人体模型とデモ機を使い、様々



普通救命講習会

なシチュエーションを想定したAEDの使用法を学んだ。参加者は、講師を務めた消防隊員の説明に熱心に耳を傾け、質問も相次いだ。後日、参加者には修了証が贈られた。

### 新年合同厄払い

組合では、組合員従業員を対象とした2019年問屋町新年合同厄払いを2月4日(月)に、問屋町会館で開催した。

組合では、厄年を迎える組合員従業員が1年間平穏無事に過ごせるようにと、2012年から労務対策事業の一環として厄払いを開始。職場に近い問屋町会館でお昼休みの時間を利用して開催し、好評を得ている。



合同厄払い

問屋町の氏神様である大星神社の沼田禰宜(ねぎ)による厄払いの祈禱が執り行われた。参加者は祭壇に玉串を捧げ、自身や家族の無病息災を祈願した。

『経済雑感』シリーズ第45弾は、昨年6月に就任された(株)みちのく銀行の藤澤 貴之 頭取にご寄稿いただいた。

### 経済雑感

第九十二回

株式会社 みちのく銀行  
代表取締役頭取 藤澤 貴之

『楽しく、かっこよく、稼げる農業』

202×年、岩木山を望む津軽平野の田園地帯。どこか懐かしく、のどかなその風景に現在と違う点がある。たとえば、農家の人々がスマートフォンを片手に、田んぼや畑の上を規則正しく飛行しているドローンを眺め、その隣では自動運転の無人トラクターがリズム



(株)みちのく銀行  
代表取締役頭取  
藤澤 貴之 氏

カルに田園の中を颯爽と走っている、そんな姿だろうか。我々のふるさと青森県は、海や山などの豊富な資源の恩恵を受け、日本有数の水産業および農業県として知られている。豊洲市場の新年初競りにおいて史上最高値で落札された大間のマグロをはじめ、むつ湾産のホタテや八戸沖で獲れるイカ・サバは特に知名度が高。また、農業

から2015年までの10年間で9万6千人から6万4千人と約3割が減少し、一農家当たりの耕地面積は年々増加している。このような耕地の規模拡大が進むなか、農業者の担い手不足や就農者確保はますます困難を極め、農業者の作業負担の軽減と効率化が喫緊の課題となっている。

みちのく銀行では、地域の基幹産業である農業の付加価値を高めるべく、AI(人工知能)やIoT、ロボットなどを活用した、楽しく、かっこよく、稼げる農業の実現に向け、いち早く「スマート農業」の普及に取り組んでいる。「スマート農業」の普及が進むことで、作業の効率化や農作物の付加価値向上が図られるのはもちろんのこと、新規就農者の増加、休耕地の再生など、地域活性化や期待できる。

### 編集後記

念願だった団地内全域の街路灯のLED化がやっと実現されました。安全な街づくりという点からは必須のことでしたので「安心です。ただ団地全体からみるとまだ暗い場所もありますので、今年度には照度調査を行い組合独自の補助照明の設置も検討したいと思います」▼転話題。「中国製造2025」の衝撃」という本が今月のBSの「ニュース・日経プラス10」で紹介されました。この本の副題は「習近平はいま何を目論んでいるのか」です▼著者の遠藤誉氏は長春市生まれで幼少期を中国で過ごし、現在は東京福祉大学国際交流センター長、理学博士▼同氏は「まえがき」で「トランプ大統領に感謝すべきだろう。彼が米中貿易戦争を仕掛けてくれたことにより、『中国製造2025』が持つ重要性に焦点を当ててくれ、中国の戦略をあばいてくれた」と指摘します▼そして、日本人が事実とかけ離れた共産党指導部の権力闘争物語を面白がっている内に、「中国はハイテク産業のコア技術で日本を追い抜き、宇宙を支配してしまうかもしれない」とも▼「中国製造2025」とは、中国が2015年5月に発布した国家戦略。その目標に対し米国が強い危機感を抱いているのです▼本書では、ハイテク製品や半導体などのキー・パーツ、情報通信分野における製造業の高度化、宇宙開発の推進などを盛り込んだ「中国製造2025」を通して習近平の中国が何をめざすのか▼人材獲得、半導体、量子通信衛星などの先端的宇宙開発の衝撃的事実を紹介しています。この項は次号に続きます。(藤本)

冒険で描いた田園風景は、遠い将来の話ではない。すでに技術革新は、ここ青森県でも動き出している。(つづく)

TOTO 水 彩 アラザ

パッキン一枚からウォシュレット取付け  
TOTO和洋リモデル、水まわりリフォームまで  
当社におまかせください。

株式会社ムラバヤシ

〒030-0131 青森県青森市問屋町一丁目8-27  
TEL 017(738)4165 FAX 017(738)1852

WADA GOMU 70th

挑戦し続ける企業でありたい